

5月25 - 29日週のNZドル円レビュー

June 1, 2009

続伸、ドル売り継続の動きを受けて

High : 61.38 円 Low : 57.78 円

Close : 61.03 円

NZ ドルは続伸。米国のソブリンリスクへの懸念によるドル売りのほか、S&P が同国の格付け見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げたことで買い優勢となり、対ドルでは0.6415 ドル、対円では61.38 円までそれぞれ年初来高値を更新した。

5/25 (月) 58.86 円

横ばい。英米勢が休日だったことで、手がかりに乏しいなか、北朝鮮の短距離ミサイル発射に伴った地政学的リスクの高まりから円売りが先行。一時 59.11 円まで上昇。しかし、次第に利益確定のドル買い戻しが優勢となり、上昇幅は抑えられた。

5/26 (火) 59.35 円

上昇。利益確定のドル買い戻しに伴って対ドルで 0.6091 ドルまで下落したことから、対円でも一時 57.78 円まで下げた。ただ、米消費者信頼感指数の改善が景気後退へのマインドを和らげたことで、リスク志向の動きが強まり、終盤にかけて 59.51 円まで反発した。

5/27 (水) 58.57 円

反落。投信設定に絡んだ円売りの動きから一時 59.52 円まで水準を上げた。しかし、ダウ平均が大幅下落となったこともあり伸び悩むと、利益確定の売りから 58 円半ばまで下げた。

5/28 (木) 60.36 円

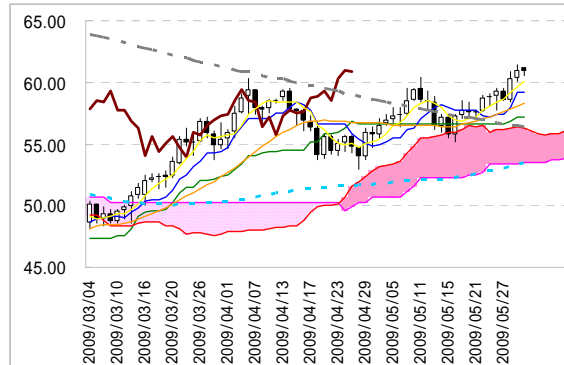
反発。クロス円はショートカバーを中心として円売り地合いとなったことで、60.82 円と上昇幅を拡大した。また、S&P が同国の格付け見通しを「ネガティブ」から「安定的」に引き上げたことも買いを後押しした。

5/29 (金) 61.03 円

年初来高値更新。ドル売りの流れが継続し、対ドルでは 0.6415 ドルまで年初来高値を更新した。対円でも上昇基調となり、61.38 円までの戻りを試した。

月日	High	Low
5/25 (月)	59.11 円	58.02 円
5/26 (火)	59.51 円	57.78 円
5/27 (水)	59.52 円	58.55 円
5/28 (木)	60.82 円	58.45 円
5/29 (金)	61.38 円	60.13 円

NZドル円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

- 65.31 (08年10月14日高値)
- 61.58 (08年11月4日高値)
- 61.57 (52週移動平均線)
- 61.38 (5月29日高値 = 年初来高値)
- = 先週末のNYクローズ 61.03 円 =
- 59.15 (日足一目均衡表・転換線)
- 57.15 (日足一目均衡表・基準線)
- 56.40 (200日移動平均線)

NZの重要指標結果

- 5/26 (火) [結果] (前回)
- 4月貿易収支 [2.76 億 NZ ドルの黒字] (4.47 億 NZ ドルの黒字)
- 5/27 (水) [結果] (前回)
- 5月NBZ企業信頼感 [+1.9] (-14.5)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 56.40 - 61.58 円

NZ ドルも総じて堅調。豪ドルと同じく相関性の極めて高い商品価格が上昇したことに加えて、米 S&P が同国の格付け見通しを安定的へと引き上げたことも材料視されたもよう。

S&P は今回の決定に対して、「同国が 28 日に発表した予算は政府が健全な状況にあることを示している」とコメント。しかし、その分財政赤字を抑制するために有効な景気刺激策が打ち出せなかったことも事実であり、現に NZ 政府は昨年の総選挙で公約した 10-11 年にかけての所得減税を先送りし、国民年金制度への拠出を中止している。こうした対応は同国の景気回復を遅らせる可能性もあり、先々の NZ ドルにとってモリリスク要因として扱われるだろう。